

事業報告書

団体名 NPO法人 ほっとハウス

事業名	知的障がい者の防災準備事業	
事業の実施内容	時期	令和2年4月1日～令和3年3月31日
	場所	ほっとハウス、徳島市役所会議室等
	実施内容	<p>今年度は知的障がい者の防災準備事業の3年目として、過去2年間で学んできたことを踏まえて、知的障がい者の防災について知ってもらうためのパンフレットを作成した。</p> <p>①パンフレット作成</p> <p>コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していたワークショップ等はできなかつたので、最小限の人数で打ち合わせを実施した。ほっとハウスのメンバーと徳島市危機管理局の担当者が素案作りを行い、徳島大学ファシリテーター玉有朋子氏・徳島文理大学准教授山越明氏がパンフレット作成支援及び監修を行った。</p> <p>パンフレットは、ターゲット別に2種類作成した。一つは、知的障がい者に日頃から関わりのない人に向けて、災害時にどのように知的障がい者に関わればいいのか分かりやすい内容にした。もう一つは、知的障がい者に日頃関わりのある人に向けて、ほっとハウスが学んできたことを共有できる内容にした。</p> <p>パンフレットは、徳島市役所内の関係部署やイオンの情報ラックに設置したり、ほっとハウスメンバーが地域の学校や関係者に配布するなど、できるだけ多くの人に見てもらえるようにした。</p> <p>②共助用バンダナの作成</p> <p>災害時、知的障がいのある人やその家族が周囲の人に助けを求め目印として、知的障がい者支援について理解のある人に「知的障がい者支援」とプリントしたバンダナを付けてもらう。作成したバンダナは地域の学校へ配布した。</p>
効果	<p>例年行ってきたようなワークショップはできなかつたが、パンフレットを作成し、なるべく多くの人に見てもらうことで、災害時における知的障がい者との接し方が周知できた。</p> <p>ほっとハウスのメンバーにとっては、防災について学び、防災リュック・コミュニケーションカードなどを作成して防災訓練をしたことが、将来起こりうる災害に対する不安を解消することができた。</p>	
役割分担	<p>団体：ファシリテーター及びデザイナー手配、パンフレット素案作り、パンフレット印刷発注、パンフレット配布、共助用バンダナ作成及び配布</p> <p>危機管理局：会議室手配、パンフレット素案作り助言、パンフレット配布</p>	

	工夫した点	知的障がい者のための防災パンフレットを作成するにあたり、読んでもらいたい対象者をどのように設定するか、時間をかけて議論した。結果、対象者を一つに絞ることはできず、2種類のパンフレットを作成することになったが、予算内で必要部数を印刷することができた。
今後の事業展開	<p>3年間この事業を行ってきたことで、知的障がい者の防災準備について具体的に学ぶことができた。今後も防災リュックやコミュニケーションカードを使った防災訓練を続けていきたい。</p> <p>また、作成したパンフレットは、地域や他の障がい者施設に紹介するなどして、成果を広く共有していきたい。</p>	

※この内容について、別様式にて報告書を作成している場合は、添付をもって代えることができます。